

まちの日記帳



元気いっぱい

11/18 12/2

第30回びくに保育所、第13回みなと保育所の生活発表会がそれぞれの保育所で行われました。保育所長のあいさつの後、園児全員による開会の言葉で始まった発表会。遊戯あり歌あり、手遊びありと各クラスで工夫を凝らした踊りや衣装に身を包み、園児はこの日のために練習した成果を元気いっぱいに披露していました。また成長したわが子を見ようと会場いっぱいに詰めかけた父兄や家族からは、一幕ごとに大きな拍手と声援がおくられていました。



11/18 びくに保育所



12/2 みなと保育所

勝利ヘスマッシュ

11/18

第16回B & G財団会長杯バドミントン大会が海洋センターで行われ、小学生から一般まで合計42人が参加して行われました。大会の結果は次のとおりです。(各部優勝者のみ)

シングルス

- 【小学3・4年生男子】 吉田 拓海くん
- 【小学3・4年生女子】 小原 百花さん
- 【小学5・6年生男子】 佐々木 亨くん
- 【小学5・6年生女子】 広和 美香さん
- 【中学生男子】 荒谷 司くん
- 【中学生女子】 西川亜里奈さん

ダブルス

- 【親子(1~3年生)】 芳村未羽・晋悟ペア
- 【親子(4~6年生)】 佐々木亨・一男ペア
- 【一般男女混合】 芳村晋悟・田中和江ペア



歯磨きの大切さ学ぶ

12/5,6

子どもの歯を守る会(尾立光会長)主催による巡回歯磨き指導が、幼児から大人までを対象に行われました。

歯科衛生士の指導のもと、むし歯はむしば菌が食べ残しのカスを食べ出て出すウンチ(酸)によってとけるといいう知識を年齢ごとにわかりやすく指導していただきました。また、磨き残しの多い前歯や奥歯を磨く時の歯ブラシの角度など個別指導もあり、強く歯磨きの重要性を感じていたようでした。



健康づくりは日頃の運動から

12/8

介護予防の一環として、運動する習慣から健康な体づくりをめざそうと、やさしい介護教室が総合文化センターで行われました。

13人が参加した教室は、余市町のグループホームポランの家から橋本武雄ホーム長を招き、「認知症の方の生活と介護されている方を応援するために」と題し、講演していただきました。

認知の方のプライドや羞恥心、認知能力を理解した上でやさしく接していくことや、介護は一人ではなく、周囲で支え合い、助け合うことの重要性について自らの体験談を踏まえながら分かりやすく説明され、参加者は熱心に聞き入っていました。



納税意識の向上に役立てて

12/10

余市法人会積丹地区青年部と町納税貯蓄組合連合会から町内の小学校1年生と6年生合わせて30人に英和辞典などが寄贈されました。

これは、納税意識の向上を目的に両団体の活動の一環として行っているもので、社会の仕組みや税金のことについても考えてもらいたいと寄贈したものです。

この日は、播磨修一青年部会長らが各小学校をまわり1年生には防犯ブザーを、6年生には英和辞典と文具セットをそれぞれ手渡しました。



いつまでもお元気で

12/10-12

美国婦人会（戸来和子会長）とびくに保育所の園児が、エイジングステーション「やすらぎ」を慰問し、施設の入居者や通所者の前で、歌や踊りを披露しました。

この慰問は、平成8年から毎年行われているもので、施設を訪問した会員の皆さんは、「きよしのドドンパ」や「倅せ通りゃんせ」などといった舞踊や歌を披露しました。

最後に、美国婦人会の笹山睦子副会長が入居者等の皆さんへ「これから本格的な冬を迎え一層寒くなります。風邪などひかず元気に過ごして、来年もまたお会いしましょう。」と話していました。

